

# 平成 2 1 年 度 事 業 計 画

財団法人ふるさと鳥取県定住機構

## I 総 括

平成20年末ころ以来の世界的景気後退の影響を受けて、本県の雇用情勢は厳しい状況にある。鳥取県においては緊急経済対策を講じるなど、企業に対する経営支援や労働者に対する雇用の確保対策を講じている。当財団においても、労働局、鳥取県と相まって雇用対策に積極的に取り組んでいくこととし、平成20年度後半から鳥取県雇用創造推進事業や緊急地域共同就職支援事業に取り組んでいるところである。

平成21年度においても、引き続きこれらの事業や若年者地域連携事業を実施し、求職者に対する就職支援を行う。また、県外大学等への進学者に対して県内就職を啓発するなど、UJIターン事業により県内企業等への「人財」の確保に取り組む。さらに、人口が60万人を割る中で、中山間地をはじめとする地域の定住人口の減少を食い止め、地域活力を維持していくために、移住定住に関わる機関と連携しながら、新しい住民が増加するよう移住定住の促進（鳥取来楽暮）に積極的に取り組むこととする。

なお、くらしよ若者仕事ぶらざの新設等に伴い、増大する事業量や事業費に対応するため、財団事務局の人的体制を拡充する。

## II 財団の運営・管理 【予算額 31,509千円】

### 1 理事会の開催（予算額 298千円）

(1) 運営方針の決定等（年4回開催）

(2) 理事の改選

任期 平成21年5月29日まで

(3) 公益財団法人移行に向けての諸準備

### 2 移住定住推進連絡会議の開催

鳥取県企画部、商工労働部、農林水産部、教育委員会事務局の移住定住に携わる担当者を構成員とする会議を開催し、移住定住のより効果的な進め方について協議する。

### 3 財団の管理運営（31,211千円）

適正な事業運営と公益法人会計基準を遵守していくため、企画、労務、経理を担当する職員を1名増員する。

## III 地域雇用環境整備事業の推進 【予算額 39,114千円】

県外の大学等卒業予定者及び一般のUターン等就職希望者は、本県産業を担う貴重な人材であり、引き続き、Uターン等就職希望者に対する県内企業の求人開拓、県内企業が求める人財の確保に努める。また、県内の求職者に対しても県内企業の求人情報を提供し、雇用の安定と定住の促進を図る。

### 1 人材誘致推進事業（予算額 5,226千円）

(1) 人材情報の収集・管理・提供

財団が運用している「とっとり仕事・定住人材バンクシステム」（以下「人材バンクシステム」という。）の宣伝・周知を県外進学者、県内企業等に対し一層推進するとともに、Uターン等就職希望者及び県内の求職者に対して県内企業の求人情報の収集・管理・提供や定住相談等を行う。

人材バンクシステムの啓発を一層推進する必要があること、また、管理運用上、情報の陳腐化に対応したメンテナンスを向上させる必要があることから1名増員する。

人材バンクシステム

◇人材情報、求人情報の提供とその広報

- \* 財団ホームページによる県内外求職者等への求人情報、イベント情報などの提供
- \* 携帯電話メールシステムを利用しての人材バンクシステムによる県内外求職者への求人情報、イベント情報などの提供
- \* パンフレット等による人材バンクシステムの啓発

(2) 無料職業紹介

東京・関西本部の定住促進コーディネーターと、県内の定住促進コーディネーターとの連携により、U J I ターン就職希望者等に対して無料職業紹介や定住相談を行う。

(3) U J I ターン連絡会議の開催

東京・関西本部及び県内の定住促進コーディネーターや鳥取労働局、鳥取県、その他関係機関と意見交換や情報交換を行い、連携して横断的なU J I ターン施策の推進を図る。(年6回以上)

(4) 産業人材誘致の推進

県外のU J I ターン就職希望者等の持つ高度な知識、技能、ノウハウなどを県内産業の振興に活用し、県内企業の人材面における産業基盤の確立を図る必要がある。

そのため、とっとり仕事・定住人材バンクシステムを活用して県内企業の高度人材に対するニーズを把握し、県外の人財の発掘・スカウトを行い、情報の集中化を進め、マッチングを進める。

2 ふるさと就職促進事業 (U J I ターン支援) (予算額 25,836千円)

(1) 事業の周知・啓発

① 各種情報の提供

財団の事業内容や求人求職情報を、インターネットや冊子等により広く県内外に提供する。とくに、財団のホームページサーバーの更新を期に、わかりやすいホームページとなるよう工夫する。

◇広報・啓発

- \* 財団リーフレット作成(4月)
- \* 財団ホームページ改良(5月)
- \* とっとり仕事・定住人材バンクシステムパンフレット作成(4月)

② 広島・岡山定住情報コーナーの運営

鳥取銀行広島支店及び岡山支店に設置させていただいている定住情報コーナーにおいて、山陽地域のU J I ターン希望者等に対し就職・定住情報を提供する。

(2) U J I ターン促進助成金の交付

Uターン等の円滑な推進を図るため、Uターン等就職者に対し、住居等の移転費用を助成する。

この場合において、支給の迅速化を図るため、従来の雇用主経由を廃し、直接本人に支給するよう制度を改める。

Uターン者等移転費用助成金：東京13万円・大阪7万円など。予定15人

(3) ふるさと鳥取定住コーナーの運営

県外情報発信基地として県が設置している東京・関西本部内「ふるさと鳥取定住コーナー」において、連携して首都圏・近畿圏のUJIターン希望者に対して 求人・定住情報を提供するとともに、就職・定住相談を実施する。

(4) とっとり就職・定住フェア（県外）2009の開催

企業の人材確保及びUJIターン等の促進を図るため、首都圏、近畿圏等に在住する大学生等及びUJIターン希望者を対象に、就職・定住フェアを開催する。この場合、鳥取県企画部及び農林水産部や市町村とともに、より広範囲の人を対象に移住定住に一体となって取り組む。

なお、大阪及び広島開催については、(財)ふるさと島根定住財団と初めて共同開催する。

◇開催 11月：大阪、広島

3月：東京

(5) ミニ就職面接会及びUJIターン相談会の開催

人材の確保が難しい産業分野について、UJIターン就職希望者を対象に、ミニ就職面接会を開催する。また、鳥取県雇用創造協議会が行う県外開催のUJIターン就職相談会は、鳥取市地域が補助対象外となるため、当該部分の経費について財団が負担する。

◇ミニ面接会開催 随時：大阪、東京

◇鳥取県雇用創造協議会事業開催 7月：大阪、東京

3 地域求職活動援助事業（予算額 7,842千円）

鳥取、倉吉、米子地域に定住促進コーディネータを配置し、求人の開拓を行うとともに、東京本部、関西本部のコーディネーターと連携してUJIターンによる県内就職の促進を図る。

4 調査研究事業（予算額 210千円）

県内企業に対して雇用情勢等に関するアンケート調査を行い、地域雇用環境の整備・改善に資する。

#### IV とっとり移住定住支援事業の推進 【予算額 14,297千円】

県外からの移住定住を促進するため、財団が行うUJIターン相談面接会の開催やとっとり仕事・定住人材バンクの普及のほか、移住定住関係機関と連携し、移住定住促進施策、就農等支援施策、就職支援施策を総合的に支援する。この場合において、移住定住推進連絡会議の意見等を尊重して行う。

また、移住定住に関する情報発信として、「とりぶ」（移住定住の事例紹介）、「暮らしのガイドブック」（県内での生活に役立つ情報）を鳥取県企画部、農林水産部などと連携して作成し、発行するとともに、新聞、雑誌その他広告媒体を活用して広報に努める。

なお、「とりぶ」はウェブマガジンとして、ホームページに掲載するとともに、県外雑誌へ定期的に掲載する。

◇就職・定住情報誌等の発行

\*とりぶ（季刊）

\*暮らしのガイドブック（5月）

◇ 移住定住イベントへの参加し、鳥取来楽暮（とっとりこらぼ）を推進する。（新・農

業人フェア、ふるさと回帰フェア、ふるさと回帰支援センター大阪新設、来楽暮カフェ、移住定住ネットワークなど)

- ◇ PR (インターネットアクセスの向上、新聞広告・雑誌広告、スーパーはくと社内広告、ポスターの作成、フェア参加記念品等)
- ◇ 移住定住の広報に当たっては、全国展開する大手の広告代理店等の活用を進める。この場合において、鳥取県の関係部局と協議の上、連携して行う。
- ◇ 移住定住者への支援の検討 (移転費用助成金、一定の家賃助成、移住定住者が行うネットワーク形成や協働事業への支援など)

## V 若年者地域連携事業の推進 (国受託事業) 【予算額 30,001千円】

若年者を取り巻く雇用環境は、未就職卒業生をはじめ中途離職者やフリーターが増加するとともに、年長フリーター化するなど厳しい状況が続いている。このため、県が設置している「とっとり若者仕事ふらざ」及び「よなご若者仕事ふらざ」において、国からの委託を受けて以下に掲げる事業 (概ね35歳未満対象) を推進し、若年者の就職を支援する。とくに、本年度は、新たに年長等フリーターの就業支援に取り組む。

### 1 職業意識育成支援事業 (予算額 6,291千円)

#### (1) 情報提供事業

##### ① ジュニアインターンシップ等に関する情報収集・提供

県内企業に対し、職場見学・職場実習等についてアンケート調査を行い、調査結果を学校等に情報提供し、キャリア教育の参考に資する。

##### ② センター (とっとり若者仕事ふらざ、よなご若者仕事ふらざ) 内での情報提供

センターを利用する若年求職者を対象に、就職や職業に関する情報を提供し、就職に当たっての自己啓発を図る。

◇ 図書、ビデオ、DVD、企業ガイドブック等による情報提供

◇ 職業や公共職業訓練に関する情報提供

#### (2) 職業意識育成セミナーの開催

##### ① 保護者セミナー

中学生及び高校生の保護者を対象に、学校と連携して県内企業の人事管理担当者や専門講師等を招きセミナーを開催して、生徒の進路選択に関する理解の深化を図る。

◇ 開催 5回

◇ 場所 県内各高等学校等

##### ② 高等学校進路指導担当者セミナー

高等学校進路指導担当者を対象に、県内企業の人事担当者や専門講師等を招きセミナーを開催して、企業が求める人物像や採用企業開拓のポイントなど進路指導に必要な知識の習得の場を提供する。

◇ 開催 3回 (5月中旬)

◇ 場所 鳥取・倉吉・米子各会場

##### ③ 大学生等就職準備セミナー

大学等に在籍している学生を対象に、新規学卒者を取り巻く雇用情勢及び企業が求める人材など職業に対する認識を深め、来るべき就職活動に向けて就職意識の形成を図る。

ア 学校単位型

◇ 開催 10回

- ◇場所 県内各大学等
- イ 集合型
  - ◇開催 3回(12月中旬)
  - ◇場所 鳥取大学・鳥取環境大学・県民文化会館
- ④ 高校生のための就職セミナー
 

高校生を対象に、本格的な就職活動を始める前に、専門分野の職員及び先輩等から「正しい職業観」や「適切な職業選択」等就職に向けての講話や将来設計に資する支援講座等を実施し、進路選択に当たっての自己啓発の機会を提供する。

  - ア 学校単位型
    - ◇開催 20回
    - ◇場所 県内各高等学校等
- ⑤ 中学生のための仕事セミナー
 

中学生を対象に、各分野の社会人等から、職務内容や体験談、勤労観等の職業講話や将来設計に資する支援講座等を実施し、職業に対する知識や理解を深め、勤労観を育成する機会を提供する。

  - ◇開催 20回
  - ◇場所 県内中学校等
- ⑥ 職場見学会
 

高校生や若年求職者等が県内企業を訪問し、実際の職場環境や業務内容等を把握できる機会を設け、企業に対する理解の深化を図るとともに、県内企業への就職のきっかけづくりを支援する。とくに、本年度は、不足する理工系技術者のUターン確保に資するため、高校の普通科の理工系の大学へ進学を希望する者(新1年生)とその父兄に対するものを試行する。

  - ◇開催 15回
  - ◇場所 県内各企業

## 2 雇用対策関連事業 (予算額 12,025千円)

### (1) 広報啓発事業

#### ① 新規高等学校卒業予定者の採用拡大のための広報啓発

県内企業の事業主を対象に新規高卒者の採用拡大を訴え、高卒求人の増加を図ることにより、高校生が就職先を決定する際の選択の幅を広げ、雇用のミスマッチの防止を図る。

◇新聞広告による広報啓発 1回(8月)

#### ② インターネットによる広報啓発

若年求職者を対象に、就職や職業に関する情報を提供し、就職に当たっての自己啓発を図る。

◇メールマガジン配信による情報提供

◇インターネットによる就職相談

### (2) 企業説明会の開催

#### ① 企業合同説明会(県内)

高校や大学等の新規卒業予定者、若年求職者及び卒業後未就職者に対し、多くの県内企業との面談の機会を提供することにより、若年求職者の就職促進と企業の人材確保を図る。

◇開催 3回(5月上旬)

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

#### ② 新規高卒求人事業所説明会

新規高等学校卒業予定者の採用を希望する企業から、当該企業の事業の概要、業務

内容等を説明してもらい、企業への理解の深化を図るとともに県内定着を促進する。

◇開催 3回(8月中旬)

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

③ 新規高等学校卒業予定者就職面接会

新規高等学校卒業予定者と採用予定企業との面談の機会を提供することにより、新規高等学校卒業予定者の就職促進と企業の人材確保を図る。

◇開催 3回(11月中旬)

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

(3) 雇用対策関連セミナーの開催

① 高校生就職内定者のための就職セミナー

企業経営者、専門分野の職員、先輩等から企業が求める人材、仕事のやりがいや苦労話などを通して、職業意識の高揚を図るとともに早期離職を防止する。

◇開催 3回

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

② フリーターへの就職支援セミナー

フリーターを対象に、各分野の社会人等から職業講話や将来設計に資する支援講座を実施し、常用就職に当たっての自己啓発の機会を提供する。

◇開催 12回

◇場所 鳥取・米子各会場

③ 年長フリーター等への就職支援セミナー

専門分野の講師から正しい勤労観や適切な職業選択などの職業講話や将来設計に資する支援講座等を3日間にわたりグループワーク形式によるなどして理解を深めさせ、常用就職に当たっての自己啓発の機会を提供する。

◇開催 3回

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

④ 若年者の職場定着促進セミナー

若年労働者や企業の人事管理担当者を対象に、職業講話や相互交流会、研修会を実施し、早期離職の改善や職場定着に向けての意識形成を図る。

ア 若年労働者へのセミナー及び交流会

◇開催 3回

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

イ 企業の人事管理者への研修会

◇開催 3回

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

⑤ 土曜セミナー

若年求職者を対象に、若年者を取り巻く雇用情勢、企業が求める人材などの講話や応募書類の書き方、面接対策などについての支援講座等を実施し、就職活動に当たっての自己啓発の機会を提供する。

◇開催 毎週第1・3土曜日(とっとり36回、よなご24回)

◇場所 センター内

3 管理費(職員人件費、事務費) (予算額 11,685千円)

VI 緊急地域共同就職支援事業の推進(国受託事業)【予算額 32,848千円】

急速かつ世界的な景気後退の影響を受けて、本県の雇用情勢も非正規労働者に対する雇い

止めや、内定取り消しが生じるなど悪化している。

このため、倉吉地域の共同就職支援センター（くらよし若者仕事ぶらざ。平成21年2月に労働局や鳥取県とともに設置。）を拠点として、各種セミナーの開催、就職フェアの開催などにより若年者等に対する就職支援を行う。

#### 1 職場見学会

若年求職者等が企業を訪問し、実際の職場環境や業務内容を把握できる機会を設け、県内企業への就職のきっかけ作りを支援する。

◇開催 1から3人の少人数で2～3社程度見学する。

◇場所 鳥取・倉吉・米子各会場

◇回数 年10回

#### 2 定着支援

くらよし若者仕事ぶらざを通じて就職した者の早期離職を防止するため、職場等を訪問し、面談し、相談に応じる。

◇人数 年110人

#### 3 土曜セミナー

若年求職者を対象に、専門講師などにより、仕事に対する意識啓発を図るとともに、面接の受け方や応募書類の書き方などの実務的講習を通じて就職支援する。

◇場所 くらよし若者仕事ぶらざ内

◇回数 1回4～5名。第2・第4土曜に開催。年24回

#### 4 就職支援セミナー

若年求職者に対し、パソコン又はヘルパーの資格を取得させ、有利就職に結びつける。

ア パソコン研修（エクセル表計算処理技能検定2級又はワード文書処理技能検定2級相当）

◇場所 専門業者に委託

◇回数 1日6時間×20日。1回5名。東・中・西各3回

イ ヘルパー研修（2級ヘルパー）

◇場所 専門業者に委託

◇回数 2か月間。1回10名。東・中・西各1回

#### 5 企業ガイドブックの作成

優良な県内企業の概要や求人を掲載した企業ガイドブックを作成し、県内外における求職活動に活かす。

◇作成部数 5,000部

◇配布先 県内雇用関係機関、県内外の大学、専門学校、県内高校など

#### 6 就職フェア（県内）

県内企業への求職者に対し、多くの企業と面談する機会を提供し、就業の促進と人材の確保を図る。この場合に置いて、農林水産業関係の事業主に対しても参加を呼びかける。

◇場所 東・中・西

◇回数 各2回（8月、2月）

◇”さかなと鬼太郎のまち”合同就職面接会 境港市で11月開催

#### 7 管理費（職員人件費、事務費）（予算額 6,351千円）

## Ⅶ 雇用創造推進事業の推進（鳥取県雇用創造協議会の事業）【予算額 0千円】

（協議会予算11,204千円）

「鳥取県地域産業活性化基本計画」と連動して行う、この事業（県、市町村、経済団体で構成）のうち、県外でのUJIターン就職フェア、県内外の求職者の県内企業見学会などを通じて求職者の就業支援と県内定住の促進を図る。

### 1 UJIターン就職フェア（協議会予算5,958千円）

県外の在職者や求職者等に対し、県内企業と面談の機会を付与し、県内への定着を推進する。また、鳥取県企画部及び農林水産部や市町村と一体となって移住定住に取り組むこととし、県内人口の減少阻止に取り組む。

◇場所 東京、大阪

◇回数 各1回

◇アウトプット指標 100人・アウトカム指標 10人

### 2 UJIターン希望者向け企業見学会（協議会予算2,330千円）

東京、大阪方面から県内へ就職を希望する者を集めて、県内企業見学会を実施し、就職のきっかけ作りを支援するとともに、県内定着を推進する。

◇場所 原則として鳥取市を除く地域

◇回数 随時

◇アウトプット指標 20人・アウトカム指標 4人

### 3 県内求職者向け企業見学会（協議会予算780千円）

県内求職者のうち、就職フェアや企業ガイダンス等の参加者に対し、県内企業見学会を実施し、就職のきっかけ作りを支援する。

◇場所 原則として鳥取市を除く地域

◇回数 8回

◇アウトプット指標 40人・アウトカム指標 10人

### 4 人材育成メニュー向け企業見学会の実施（協議会予算2,136千円）

人材育成研修事業に参加した者を対象として、企業見学会、就職フェアを開催して県内企業への就職を促進する。

◇場所 原則として鳥取市を除く地域

◇回数 企業見学会5回、就職フェア4回

◇アウトプット指標 250人

（参考）

ビジネススタッフ 財務コース 16人×3か月×4回（中・西部）

情報コース 16人×3か月×5回（中・西部）

オフィスビジネス 16人×4か月×3回（中・西部）

テクニカルサポート 10人×3か月×5回（中部）

品質工学 20人×4日×6か月×1回（中部）

FPD関連エンジニア育成 8人×5か月×2回（東部）

アパレルオペレータ 10人×3か月×5回（東・中・西部）

生産技術オペレータ 20人×3か月×9回（東・中・西部）

IT人材 プログラマ向け 20人×2か月×2回（東・西部）

〃 システムエンジニア向け 20人×1か月×1回（中部）